

# 図画工作科の基本方針

## 1 図画工作科で目指す子ども

既存の知識や経験と新たな情報とを関係付け、イメージを広げたり、自他の作品に対する感じ方を変容させたりする子ども

図画工作科は、「造形的な創造活動の基礎的な能力」を育成する教科である。この力を培うためには、子どもが、造形的な見方・考え方を働かせることが大切である。

造形的な見方・考え方とは、「感性や想像力を働かせて、形や色などの造形的な視点を持ち、自分のイメージを基に考えること」である。この見方・考え方を働かせるため、次の学習場面を設定する。

- ① 子どもが「もっと〇〇のように表したい」「形や色を△△に工夫しよう」等、表したいものへの思いを膨らませ、よりよい表し方を見いだして表現する場面（表現）
- ② 子どもが自他の作品を形や色といった視点でとらえ、よさや美しさに気付く場面（鑑賞）

どちらの場面でも、子どもが既存の知識や経験と、表したいものや作品に関する新たな情報とを関係付けて考えることが必要である。

表現では、様々な材料の特徴を捉えさせてから、思考ツールを使わせたり、交流活動を行わせたりして、よりよい表し方に気付かせる。

鑑賞では、自他の作品に対する感じ方を交流し、自分なりの言葉で説明させ相互評価させる。

このようにして子どもは、自分の作品をよりよくしようとイメージを広げたり、よさや美しさに気付いて作品に対する感じ方を変容させたりする。さらに、どの

ようにしてイメージが広がったか、どのように感じ方が変容したかを自覚する姿が、当校図画工作科で目指す子どもの姿である。

## 2 豊かに考える子どもを育む授業づくり ○ 低学年：絵や立体、工作

イメージを広げて表し方を考え、工夫して表す子ども

堀田は低学年複式の「絵や立体、工作で表す活動」において、まず、子どもの想像力をかき立てるテーマを提示する。子どもが意欲を高めたなら、表したいものの具体を問う。子どもはこのとき、既存の知識や経験等から漠然としたイメージをもつ。そして「自分ならどんなものが表せそうかな」と問いをもつ。

次に、漠然としたイメージを可視化し、広げるための思考ツールを用いて、表したいものの特徴を考えさせる。子どもは、表したいものの形や色といった視点から具体的なイメージをもつ。

そして、イメージを実現するための材料や描画材の表し方が分かるツールを提示する。子どもは、自分のイメージと、それに合う表し方とを関係付け、表現に見通しをもつ。

その後、材料や描画材を提示して造形活動に取り組みせる。中間鑑賞活動では、子どもが表現する際の「行為」と、材料や描画材の「効果」が分かる動画を提示する。このことにより、子どもは新たな表し方に気付き、工夫して表現する。

このように「イメージを広げる→具体的なイメージをもつ→つくる→よりよい表し方を考える」という一連の活動を通して、子どもはイメージを広げて表し方を考え、工夫して表す。

### 3 図画工作科で育成する資質・能力

	低学年	中学年	高学年
① 知識・技能	<b>【表現】</b> ○材料の形や色が表す効果に関する知識 ○基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能  <b>【鑑賞】</b> ○作品の形や色が表す効果に関する知識	<b>【表現】</b> ○形や色，組合わせが表す効果に関する知識 ○前学年までを含んだ，基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能 <b>【鑑賞】</b> ○作品の形や色，組合わせが表す効果に関する知識	<b>【表現】</b> ○形や色，組合わせ，動きや奥行きが表す効果に関する知識 ○前学年までを含んだ，基礎的な用具を扱う技能 ○材料の特徴を生かす技能 <b>【鑑賞】</b> ○作品の形や色，組合わせ，動きや奥行きが表す効果に関する知識
② 思考力・判断力・表現力	<b>【表現】</b> ○自分の表したいことについて発想・構想する力 ○自分のイメージに合わせて材料を用いた表し方を考える力  <b>【鑑賞】</b> ○自他の表現のよさや面白さを見いだす力	<b>【表現】</b> ○自分の表したいことについて見通しをもって発想・構想する力 ○自分のイメージに合わせて，材料や用具の効果を考えて選択し，表し方を考える力  <b>【鑑賞】</b> ○自他の表現の造形的なよさや面白さ，美しさを見いだす力	
③ 態度	<b>【表現・鑑賞】</b> ○生活の中にある造形的な表現に気付こうとする態度 ○形や色などにより生活を楽しくしようとする態度	<b>【表現・鑑賞】</b> ○生活の中にある造形的な表現に気付き，自分の生活とのつながりを見いだそうとする態度 ○形や色などにより生活を楽しく心豊かにしようとする態度	<b>【表現・鑑賞】</b> ○生活の中にある造形的な表現のよさや面白さに気付き，自分の生活とのつながりを見いだそうとする態度 ○形や色などにより生活を楽しく心豊かにしようとする態度

### 4 図画工作科の学習で働かせる見方・考え方

	低学年	中学年	高学年
見方・考え方	<b>【表現・鑑賞】</b> ○感性や想像力を働かせて，形や色などの造形的な視点をもち，自分のイメージを基に考えること  ----- <b>【表現】</b> ○既存の知識や経験と関係付け，表したいものの形や色に着目すること ○表し方と表し方を比べて考えること ○自分のイメージと表し方を関係付けて考えること <b>【鑑賞】</b> ○作品の形や色の効果に着目すること ○表したいものと材料の表し方を関係付けて考えること		